

2022-23 年度RI 会長 シェフアー・ジョーンズ (カナダ: ウィンザー・ローズランドRC) 第2820地区ガバナー大野治夫 (つくば学園RC)

国際ロータリー 第2820地区(茨城) 第1分区 日立港ロータリークラブ週報



2022. 11. 10
第 2031 回例

会長 山口憲生 会長エレクト 鈴木崇久 幹事 佐藤泰子

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12



11 月は新クラブ結成推進月間です

会長挨拶 山口憲生 会長



今日は、「認定こども園」について茨城キリスト教学園の小幡園長から外部卓話をいただきます。私もかつて会社現役時代に、聖児幼稚園2代目園長の仁平さんとある市民団体役員同士として関係し、他に無理な協力依頼したこともあり、何かの縁を感じます。現代の幼児保育・教育の問題は日本の将来を左右する重要問題です。この機会に認識を深めたいと思います。

さてこの度「ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会」理事・藤居パストガバナーから「希望の風」(震災孤児への奨学金)への追加寄付の要請があり、当クラブ理事会でこれに応じる決定をしました。今回の要請の経緯は、藤居さんによれば、奨学金原資が近い将来枯渇することに減額や打ち切りの議論があったとのこと。藤居さんとしては、大震災時点の年齢計算で対象者は当初から予測でしたのにこんな議論がなされることに憤りを感じたそうです。それを転じて、さらに義援金を募ろうとしたとのこと。「憤り」転じて「奉仕」となったわけで、例えばウクライナ支援の我々の感情も同じことが言えるのではないのでしょうか。

先の地区大会にRI 会長代理として臨席された高野孫エ衛門さん(甲府RC)は「吉字屋」という創業400年の老舗の子孫で、元は塩の流通商人だとのこと。上杉謙信が戦う相手の武田信玄に塩を送った逸話は有名ですが、この運搬を担ったのが高野代理の祖先ともいえるようです。戦い(憤り)に反して奉仕(武士の情け?)をした例ですね。物事は甘く見るだけでなく、憤りの面から考えることも、奉

仕の動機となるようです。

また、本日は北茨城RCから4名のメークアップをいただいています。第1分区の北と南のクラブ交流として、例会及び大みかゴルフ場での例会アフターゴルフで楽しくご一緒したいと思います。

今週の会場の花
"カーネーション"
花言葉: 気品



例会報告

- 開会点鐘 山口憲生 会長
- 国歌斉唱 「君が代」
- R ソング 「奉仕の理想」
- 唱和 「四つのテスト」

本日のビジター紹介 今野紀仁 親睦活動委員長

茨城キリスト教学園大学付属認定こども園 園長 小幡幸和様
北茨城ロータリークラブ 会長エレクト 椿 眞里様
同 村山潤一様、小宅和彦様、鈴木和栄様
ようこそいらっしゃいました。

今月の誕生日祝い 今野紀仁 親睦活動委員長

- 鈴木 稔さん (1日) 平田伸一さん (14日)
- 佐藤泰子さん (16日) 山口憲生さん (26日)
- 笹尾 光さん (27日)



今月の結婚記念祝い 今野紀仁 親睦活動委員長

小松茂一さん（1日） 小泉浩一さん（1日）
 宮田秀昇さん（3日） 藤田 博さん（12日）
 木村昌永さん（19日） 額賀儀秀さん（20日）
 島田洋次さん（21日） 佐藤邦裕さん（25日）



年になります。見捨てられないように努力します。

- 宮田秀昇さん…34回目の結婚記念日を迎えました。「これからもよろしく」と声を掛けたら、「こちらこそ」と返って来ました。夫婦仲はまだ大丈夫そうです。
- 額賀儀秀さん…今年も何事もなく結婚記念日を迎えることが出来そうです。妻に感謝！
- 島田洋次さん…結婚祝いありがとうございます。

目標 1,266,000 円
 本日のご芳志 24,000 円
 トータル 552,000 円

出席報告 山口彰二 SAA

会員数	出席数	出席率
35	24	72.73%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
4(本日出席2名)	9	100.0%

本日の食事メニュー：幕内弁当

ここにこ BOX 報告 山口彰二 SAA

【ご芳志を頂いた方からのコメント】

- 村山潤一様…久しぶりのメイクアップ（4名）です。大甕神社で身を清めての出席です。どうぞよろしくお願ひ致します。
- 鈴木稔さん…忘れられない誕生日の思い出
48年前27歳になった日、酒の勢いを借りて妻にプロポーズした。答えは“改めて素面で言うて！”以来酒立ちが続いている。
- 平田伸一さん…58歳になりました。健康第一で、これからも頑張ります。
- 山口憲生さん…現在、夫婦とも75歳。26日に1歳年上になる。後期高齢者同士です。
- 佐藤泰子さん…お祝いありがとうございます。62歳になります。一日一日を大切に、自分らしい62歳を楽しみたいと思います。
- 小泉浩一さん…11月1日で結婚35周年を迎えることができました。今の心境は「妻がいて生きて来られた。心から感謝しています。時が経つにつれて深まる愛を、君にありがとう❤️」です。ただ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、濃厚接触は控えさせていただいております。
- 木村昌永さん…すっかり忘れておりました。33

幹事報告 佐藤泰子 幹事

【受信書簡・メール】

- ・地区大会参加の御礼
- ・2022-23年度国際奉仕セミナー開催の案内
- ・2023-24年度 RLI 委員推薦のお願い
- ・「希望の丘」支援ご寄付のお願い
- ・茨城県北 RAC 11月例会の案内
- ・世界米山学友会によるチャリティー奉仕リレーの案内
- ・バギオだより 11月号
- ・月信 11月号
- ・2021-22年度 2820 地区年次報告の送付
- ・ザ・ロータリアン 11月号
- ・令和4年度 第2回日立市青少年育成推進協議会 地域活動部会開催の案内
- ・日立市しいの木学園寄せ植えプランター贈呈式 JWAY 放映の案内
- ・みなみひまわり通信 11月号
- ・しいの木だより 11月号

【第5回理事会報告】

[審議事項]

- 1.10 月度出席率 100.0%
- 2.プログラム変更
 - 11/10 (木) 外部卓話 茨城キリスト教大学付属 認定こども園 園長 小幡幸和様
 - 11/24 (木) 夜間例会開催の有無と会場について プログラム 会員卓話一言 未定
 - 12/15 (木) クリスマス例会開催の有無と会場について
- 3.「希望の風」支援寄付について
- 4.2023-2024 年度 地区役員推薦について
- 5.11/27 (日) 日帰り家族親睦会 (バス旅行) について

[審議結果]

- 1.10 月度出席率 100.0% 承認
 会員数 35 名 (免除除く)
 10/6 32 名、出席 23 名 M9 名、出席率 100.0%
 10/13 33 名、出席 23 名 M10 名、出席率 100.0%

10/20 33名、出席 25名 M8名、出席率 100.0%
 10/27 32名、出席 20名 M12名、出席率 100.0%
 2. プログラム変更

11/10 (木) 承認、11/24 (木) 夜間例会は開催、会場は「たま」、プログラムの卓話一言は小松茂一さん

12/15 (木) クリスマスパーティ (忘年) 例会家族親睦会は開催、会場は親睦活動委員会で企画する。

3. 承認 社会奉仕委員会 1人 1000円×35名分支出

4. 2022-23 太田秀夫インターアクト委員が次期委員依頼を了承、インターアクト委員会希望

5. 承認

その他 山口憲生会長

RLI (ファシリテーター) の推薦について

本日のプログラム

外部卓話

小幡 幸和様

『茨城キリスト教大学附属認定こども園について』



本日は、日立港ロータリークラブの例会にお招きいただき誠にありがとうございます。

実は、園長就任前の2018年に、大学附属認定こども園みらい園の

自己点検・自己評価委員会におきまして、日立港ロータリークラブでもご活躍された鈴木道明様とご一緒させていただきました。この度は、その時からご縁をいただいております皆様にお目にかかれて大変感謝しております。ロータリークラブ例会への参加は初めてでございまして、大学生が教室の前に出て発表をする時のように緊張しておりますが、何卒よろしく願いいたします。

I. 認定こども園とは

さて、本題に入ります前に、そもそも「認定こども園とは何か」というお話をさせていただきたいと思います。

小学校に入る前の子どもたちが通う施設として、従来は幼稚園と保育園の二つがありました。幼稚園は3歳児から5歳児を対象とする「教育」の施設であり、保育園は0歳児から5歳児向けの、教育を伴わない「保育」の施設です。政府の少子化対策・子育て支援策の一環として2006(平成18)年にできた「認定こども園」は、簡単に申しますと幼稚園と保育園両方の機能を持った施設であり、また同時に地域の子育て支援拠点としての意味合

いも持っています。認定こども園にもいくつか種類があるのですが、私どものような「幼保連携型認定こども園」では、0歳児から2歳児までの「保育」に加え、3歳児から5歳児には「教育のみ」あるいは「教育と保育の両方」が提供されます。現在、日立市には幼保連携型認定こども園が13園あります。

認定こども園制度ができるにあたって、様々な変化が生じました。まず、管轄する省庁が違います。幼稚園は文部科学省、保育園は厚生労働省の管轄ですが、両方の要素を併せ持つ認定こども園は内閣府の管轄で、これが来年度からはこども家庭庁に移行します。幼稚園の先生は幼稚園教諭、保育園は保育士の免許が必要ですが、認定こども園の先生(保育教諭)は両方の免許を持っている必要があります。また、幼稚園は通常午前9時頃に始まり午後2時頃に終わります。一年で言えば、4月に始まり、夏休みがあり、冬休みと春休みもあります。認定こども園の教育部分はこれに準ずるのですが、認定こども園はこれに加えて保育部分があります。そのため、私どもの園では最大で午前7時15分から午後6時45分まで子どもを預かります。保育施設ですから、日曜祝日以外はお盆も含めて子どもを預かるのが前提で、年末年始に数日の休みがあるのみという制度となっています。

私どもの園は、2006年に茨城県内初の認定こども園として設置されました。幼稚園から幼保連携型認定こども園に移行したため、保育士免許を新たに取得する必要が生じ、保育時間が長くなるなど様々な変化を経て現在に至っています。

II. 茨城キリスト教大学附属認定こども園

: 歴史・概要、活動内容とその特色

A. 歴史・概要

茨城キリスト教大学附属認定こども園の前身は、1947(昭和22)年に設立されたシオン学園幼稚園です。同じ年に設立された英語夜学校と共に、今年創立75周年を迎える茨城キリスト教学園の始まりに幼稚園があったのです。1951(昭和26)年には茨城キリスト教学園幼稚園と改称され、その後はキリスト教聖児幼稚園と呼ばれた時代が長く続きました。この間には、ジョセフ・L・キャノン先生や仁平舜夫先生といった、地域社会でも活躍した方々が園長を務めています。さらに、2005(平成17)年には茨城キリスト教大学附属聖児幼稚園(多賀

園・日立園・高萩園) となり、2006(平成 18)年には認定こども園せいじ園として認定、また学園大みかキャンパス内のみらい園設置を経て、2016(平成 28)年以降は茨城キリスト教大学附属認定こども園みらい園・せいじ園となっています。

中学・高校、大学・大学院を含む総合学園となった茨城キリスト教学園にあって、今も二つの園が 75 年の伝統を引き継いでいます。みらい園は大みか駅前の学園正門を入ってすぐの右側に、せいじ園は日立市役所に近い助川町にあります。

B. 活動内容とその特色

1) 教育理念

本園では、キリスト教の愛の精神を基盤とし、"遊び"を中心とした保育教育を行う中で子どもたちの成長を育てています。そして、1) 神と人を愛する心を育むこと、2) よく考え、判断できるかしこい頭を育むこと、さらに 3) 体を使って遊び、よく動く体と体力を育むことを教育保育の柱としています。キリスト教の愛の精神を伝えることは、3 歳児から 5 歳児向けの教育に含まれる「聖話」によって具現化されています。聖話とは子ども向けの聖書の話で、子どもたちは紙芝居の絵やお話を通して一人ひとりが神様に愛されていること、友だちに優しくすること、そして感謝の気持ちを持つことなどを学びます。園の先生だけでなく、学園チャプレンがこの聖話を担当してくださっています。聖話の際、子どもたちは良い姿勢で椅子に座り、先生の話をしっかり聞いています。このためか、本園を卒園した子どもたちは小学校に入ってもしっかりと先生の話聞くことができ素晴らしいと、小学校の先生方からお褒めの言葉をいただくことが少なくありません。

その他の保育教育の時間でも、見る・つくる・歌う・踊るといった遊びをとことん楽しめる環境の中、子どもたちは心も体も頭もイキイキとフル稼働しています。こうして育まれる、静かに話を聞く力、遊びの中で育まれる好奇心やねばり強さ、友達への共感、自尊感情などは「非認知能力」と総称されます。私たちは、AI 時代にあっても子どもの成長に欠かせないこうした力、言い換えれば数値化できないけれど大切な"人間力"を、これからも本園で育てていきたいと考えています。

2) 年間を通しての活動

「入園案内 2023」にございますとおり、本園の

教育理念は年間を通しての様々な活動・行事によって展開されています。5 月には「花の日礼拝」があります。これは、きれいな花を与您てくださっている神に感謝する気持ちをもとに、各家庭から少しずつ庭の花などを持ち寄ってもらい、小さな花束をいくつも作って学園内外の様々な所に子どもたちがお届けする行事です。学園内では理事長室や大学学長室を園児が訪問します。さらに、キャンパスを出て、近隣の方々、例えば大甕駅や消防署の方々にお花をお届けすることもあります。

こうして、子どもたちが様々な年齢・立場の人と出会う機会も大切であると私たちは考えています。10 月に行われるうんどう会、11 月の感謝祭、そして 12 月のクリスマス会も大切な行事です。特に、クリスマス会ではイエス・キリストの誕生物語を年長組が見事に演じる劇がある他、年中組や年少組も歌や合奏、遊戯などを保護者の前で立派に披露します。また、本園では学園キャンパス内の散歩や近隣公園等に出かける園外保育、さらには音楽と体操を組み合わせたリトミック活動や創作・音楽等の表現教育も大切にしています。さらに専門の先生による体操や英語の時間も、子どもたちの様々な可能性を広げる機会が確保されています。

3) 大学・学園全体との連携

附属園として、大学と様々な連携活動を行なっていることも本園の大きな特徴の一つです。保育や幼児教育、小児看護、幼児英語教育の実習・実践で、大学生が頻繁に園を訪れます。また、大学の先生が特別に園児のために教えてくださることもあります。例えば、今年の 7 月には園児が大学にある畑に行き行ってじゃがいも掘りを体験させてもらいました。大学の児童教育学科では、体験型の学びを重視する観点から畑で作物を育て収穫する授業があります。その畑を訪問した園児たちは、大学の先生のご指導のもと、泥んこになりながら土の中のじゃがいもを掘り出して大喜びでした。

また、体育を専門に研究されている大学の先生が、自ら園児とともに体を動かしてくださる体育遊びも子どもたちに好評です。こちらは大学の広い体育館で行われ、普段見たことがないような大きなマットや綺麗なバランスボールを使わせてもらうこともあります。さらには、大学生が園を訪問して、楽しく愉快的な音楽劇を演じてくださる機

会もあります。

茨城キリスト教学園の一員として、本園は大学以外からも恩恵を受けています。例えば、高校生がボランティアで本園に来てくれて、大学生とはまた違った年齢のお兄さん・お姉さんとの交流の機会を与えてくれています。また、多くの方々から学園がいただいている寄附金をもとに創設されたICグローバル人材育成奨学基金を通して、みらい園・せいじ園において特別のグローバル教育が行われています。インドネシアの影絵を演じてくださる方が来園して下さったこともありましたし、つい先日は東京で英語子どもリトミックを主宰している専門の方々をお招きして、英語と音楽と体操を組み合わせた楽しいときを園児が持てました。

Ⅲ. 今後の課題

急激に時代が変化する中で、本園がこれからも有意義で安心安全な保育教育を行なっていくためには様々な課題もあります。まず、第一に社会のニーズの変化への対応があります。共働き家庭が増加していることはご存知の通りです。そのことにより、午後の早い時間に保護者が迎えに来ることを前提とした従来の幼稚園ではなく、幼稚園で行われる「教育」を含みつつ、より早い時間からより遅い時間まで子どもを預ける「保育」のニーズが増しているのです。「認定こども園」が必要とされている理由の一つもここに 있습니다。本園では、2023年度からせいじ園の保育部分定員を増員するなど、こうした地域社会のニーズに合わせた対応を今後もとってまいります。

また、人口減・少子化の時代にあつて、保護者の期待に応え、園児を確保していくことも大きな課題となっています。そのためにも、総合学園の一つである利点を今後も活かし、大学や中学・高校との連携を強化して、より魅力ある保育教育を提供すると共に、広報活動を通して園のアピールをしていきたいと考えています。なお、昨年度より、みらい園・せいじ園それぞれがツイッター（Twitter）による、写真付きの情報発信を始めております。各園のホームページにツイッターへのリンクがありますので、よろしければ、ぜひ皆様にも各園ツイッターのフォロワーになっていただきたくお願い申し上げます。

さらに、いわゆる生産年齢人口減の時代にあつ

て、安心安全な保育教育を提供し続けるための保育者確保も大きな課題となってきています。本園では、優秀な保育者を安定的に確保すべく、茨城キリスト教大学児童教育学科幼児保育専攻の学生を対象にした、専任保育教諭の大学推薦採用制度を昨年度よりスタートさせました。もちろん、他の大学・短大からも多くの方が本園に就職されていますし、今後とも広く保育教諭を募集してまいりたいと考えています。また、専任保育教諭だけでなく、時代のニーズに合わせてフレキシブルな時間に働いていただくための非常勤保育士・非常勤職員制度もあります。皆様のお知り合いの中に、かわいい子どもたちの保育教育にご関心がある方がいらっしゃいましたら、多様な働きのできる場として、ぜひ本園のことをお話しいただけますと幸いです。

茨城キリスト教大学附属認定こども園は、国の少子化対策・子育て支援策の一端を担う存在として、私立、とりわけ総合学園の一部であることを十分に活かしながら、この日立市にあつて今後も特色ある教育保育にあたりたいと考えております。

そのためにも、日立港ロータリークラブの皆様をはじめ、地域の方々のご指導・ご支援を賜うことができますと大変幸甚に存じます。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。ご静聴ありがとうございました。

閉会点鐘 山口憲生 会長

地区大会報告

幹事 佐藤泰子

RI 第 2820 地区、2022-23 年度地区大会は 10 月 29 日(土)から 30 日(日)にわたり、つくば市のノバホールとホテル日航つくばで開催されました。今年度はつくば学園 RC がホストクラブで「enjoy life～人生を楽しむ～」を大会テーマとし、RI 会長代理として甲府 RC の高野孫左エ門氏を迎え、友好地区として、タイ、フィリピン、ネパールからのロータリアンも参加されました。

1 日目は「会長・幹事会」で、地区現況報告・地区委員会報告、ガバナー補佐報告等がありました。

夜は「RI 会長代理歓迎晩餐会」が開催されました。宴では、素敵なジャズピアノの演奏を楽しみながら、多くのロータリアンと和やかに友情を深

めることができました。

2 日目は、一般会員も参加しての本会議で、当クラブからは 11 名のメンバーが参加しました。来賓、友好地区紹介、大野ガバナー挨拶の後、大会決議がありました。その後、RI 会長メッセージ並びに RI の現況報告、来賓挨拶に続き、記念品贈呈、RI 表彰、次年度ガバナーの水戸 RC 大久保博之ガバナーエレクトへの旗継ぎ等が行われました。

引き続き行われた記念公演では、川井郁子氏による「ヴァイオリン演奏」を鑑賞しました。ウクライナから届いたばかりという白色に淡い黄色が入ったドレスで、魅せて聴かせてくれた演奏は心に沁みました。本会議後に開催された懇親会では、大野ガバナーのご厚意で行われた「マグロ解体ショー」が大変盛り上がり、2 日間の大会は終了しました。参加された会員の皆様お疲れ様でした。



RI 表彰 2021-22 年度ロータリー賞受賞



★★ 行事の申込受付案内 ★★

◆秋の日帰り家族親睦会

11月27日(日) 大子・袋田方面
 集合時間 7:50 集合 なぎさ会館駐車場
多くの皆さんの参加をお待ちしています。
 事務局まで参加のご連絡を！！

今後のスケジュールのご案内

- 11月24日(木) 18:00~ 夜間例会 たま
「卓話一言 小松茂一さん」
- 12月1日(木) 12:30~ 美かの
「会員卓話 島田 裕さん」
- 12月8日(木) 12:30~ 美かの
「年次総会」
- 12月15日(木) 18:00~
「忘年例会 クリスマスパーティ家族懇親会」

編集後記

以前松橋会員から日立製作所ラグビー部の紹介があったと思いますが、今年からチームは一般社団法人化して、現在は「日立 Sun Nexus 茨城ラグビー部」という名称で活動をしています。選手に 2 名社員がいますので、当社もスポンサーになっています。チームは社会人ラグビーの「トップイースト B」というカテゴリーに所属していて、今シーズンはここまで 4 勝 2 敗、残すところ 2 試合です。結果次第では上位カテゴリーとの入れ替え戦に繋がります。次節 11 月 20 日はラグビーの聖地と言われる秩父宮ラグビー場での試合で、チームの割引チケットで観戦に行くことにしています。私の学生時代(明治大学の出身です。ラグビー部ではありません)には大学ラグビーがすごく人気があって、伝統の早明戦は国立競技場が毎年超満員になるほどでした。聖地・秩父宮ラグビー場も何度も行きました。思い出深いのが、1989 年に日本がスコットランドに競り勝った試合です。勝利の瞬間にスタンドで涙したのをよく覚えています。11 月 20 日は SunNexus の試合の後に関東大学対抗戦の明治大学対帝京大学の試合が続けてあります。全勝対決で、優勝の行方を争う注目の試合です。ひいきの 2 チームが出るこの日は私にとって今年一番のイベントで、今から楽しみで仕方ありません。(き)

発行：日立港ロータリークラブ(翌例会日)

編集：会報・雑誌委員会

神山靖基 木村昌永 五来美奈

平田伸一 中野紀子(事務局)

URL: <http://www.hitachi-ko-rc.com>

E-mail: info@hitachi-ko-rc.com